

2020年3月17日

北広島市長 上野正三様

一般社団法人 北海道自然保護協会
会長 在田 一則
フォーラム野幌の森
代表 五十嵐 敏文
北広島森の倶楽部
事務局 加藤 和子
北広島の自然を考える会
代表 三澤 英一

■「第一回アクセス道路に関する意見交換会議事概要」についての再意見

我々自然保護団体4団体は、本年1月14日に「令和元年10月17日の第一回アクセス道路に関する意見交換会議事概要の確認事項について」とし、「12月23日の北広島市と自然保護団体4団体との意見交換会に於いて北広島市から提案された「10月17日の第一回アクセス道路に関する意見交換会議事概要」の内容について多数の疑義が生じたので事実の確認と議事概要について再度の話し合いを求めます。」との内容の申し入れ書を提出しました。

しかしながら、第3回意見交換会は2月下旬開催予定から3月中旬に変更になり、その後に新型コロナウイルス感染防止の為に行われなくなり、現在に至っています。

こうした中の3月9日に、貴市より「【議事概要】第1回アクセス道路に関する意見交換会」が送信されてきました。しかしながら、先に述べた「第一回アクセス道路に関する意見交換会議事概要の確認事項」(1月14日提出)の「第1回意見交換会 確認・訂正内容」以下の部分で申し入れた内容は十分に活かされていません。抗議します。

例えば、冒頭の

【市役所】

経過の中で特に重要と考えていることは、アクセス道路の最終的な線形ルートと2023年開業までに完成することについて、前回、皆様のご理解をいただいているということ、今後の設計や工事において、自然環境に配慮しながら、エコロードに関して意見交換を行っていくこと。この認識で良いか。

【自然保護団体A】

その認識で良いのですが、(以下省略)

上記の【市役所】の発言はすでに指摘したように無いものであり、その無い発言に対し【自然保護団体A】(自然保護団体Bの間違い)が「その認識で良いのですが、」と発言していないことを書き加えています。これは、あまりにも作為的に過ぎます。

従って、この度の「議事概要」(3月9日に送信を受けた)についても、受け入れられないことを取り急ぎお知らせします。

また、貴市がこだわっている「アクセス道路の最終的な線形ルートと2023年開業までに完成することについて」了解したことはありません。現状のルートには反対であり、企業の50周年・20周年記念である2023開業に向けて強引に進められる道路建設に賛成することはありません。こうした中で、ミチゲーションの考え方に基づく「エコロード」を要望しているものです。

以上、宜しく願い致します。

なお、この文書は公開することがあることを申し添えます。